

島田市新型コロナウイルス感染症対処方針の改定について

新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。40歳以下の若い世代の感染と家庭内感染が増え続けています。変異ウイルスの猛威が大きな影響を及ぼしています。これまでとは、全く違う感染力を持っています。40歳以下の若い世代への重症化リスクも高いとも言われています。

5月初旬に判明した飲食店クラスターは、県との連携による迅速な周辺検査の効果もあり、早い段階で収束させることができました。クラスター等の大規模な感染発生によって、健康被害のみならず、日常生活、通勤・通学、事業経営といった社会経済活動全般、そして心理的影響への波及といった不都合なことがたくさん出てきます。

市民の皆様、お一人ひとりがそれぞれの立場で、感染予防対策や予防行動を見直し、今まで以上に意識して日常生活を送る必要があります。

島田市では、5月17日月曜日からワクチン接種を本格的に行っていきます。6月には65歳以上の高齢者の皆さんに対するワクチン接種を本格開始します。

地道な感染予防対策とワクチン接種の進捗によって、ウイルスに対する防護力を高め、結果として感染拡大を抑えることができます。

市では、ウイルスに対する防護力を高めるとともに、万が一クラスターが発生した場合でも早期に収束させるための対応、市民生活や社会経済活動を維持するための対応等について、引き続き総合的な取組を進めてまいります。今後、長期化する新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、社会生活や経済活動の様々な面に悪影響が及び広がることを懸念しています。これらの課題に対しても、現行の制度で対応できない部分については、新たな対応策も検討して参ります。

今般、これらの取組を整理し、従来の対処方針を改定しましたので、市民の皆様にお知らせ致します。

市民の皆さん、何としてもこの感染拡大の勢いを喰い止めてまいりましょう。

令和3年5月14日

島田市新型コロナウイルス感染症対策本部長

島田市長 染谷絹代